

平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 東京成徳大学 実施報告書



実施主体 東京成徳大学八千代キャンパス手話サークル  
実施内容 平成25年10月26日, 27日の翠樟祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

児童虐待についての学習会を重ね、「かけがえのない命を大切にする」視点にたって手話サークルとして取組を考えた。手話歌の発表、教室展示でオレンジリボン運動のメッセージをどのように伝えるかについて、アイデアを出し合った。

## ②実施期間に取り組んだ具体的内容

ア. 展示コーナーに、手話に関係する掲示のほかに、オレンジリボン運動コーナーを設けた。イ. 展示をご覧になって、運動に賛同する方にオレンジリボンを作成し、メッセージも書いていただいた。ウ. 手話歌の初めに、運動について取り組んだ思いをスピーチした。エ. Tシャツを作成し、そこにオレンジリボンをデザインした。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

ア. 事前学習や、学園祭での活動を通じて、児童虐待の現状に対する理解がこれまでよりも深まった。

イ. 運動に参加して良かった。手話歌で表現することと、オレンジリボン運動での、命の持つ尊さ、かけがえのなさを訴えることが重なりあった。

ウ. ポスター、ちらし、歌の前のスピーチを通じて、オレンジリボン運動を伝えることができた。

オ. 来場者がリボンを作成し、メッセージを書くことによって、運動に対する共感が広がった。

カ. Tシャツにオレンジリボンをデザインすることで、メッセージがより強く伝わったように感じた。

オレンジリボンの入ったシャツを着て手話歌を発表した。

